

生体医工学フォーラム 2013

医工学教育・研究の現状と展望

in Sendai

第2回

医工連携という言葉が人口に膾炙して久しく、すでに医療現場ではその成果が多く領域で活かされています。そして教育現場においても、医工融合の時代を迎え、平成20年東北大学に我が国初の医工学研究科が設立されました。発足5周年という節目の年を迎え、発足当時をふりかえりつつ、その理念がどのように実践されてきたかを検証する時期にあると言えます。そこで、産官学連携研究、人材育成事業、レギュラトリーサイエンス事業など、国産医療機器開発に向けた様々な取組みが進められている現状を俯瞰し、今後の展望を共有する場として、本フォーラムを企画致しました。



日時

平成25年3月18日(月) 午前10時～午後5時

会場

東北大学 工学部 中央棟 大講義室 (青葉山キャンパス)

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6

主催: 日本学術会議 基礎医学委員会 生体医工学分科会

共催: 日本生体医工学会

後援(予定): 文部科学省 厚生労働省 経済産業省 独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)

医療技術産業戦略コンソーシアム(METIS) 東北大学

午前の部 10:00-12:00

開会挨拶

東北大学 理事 伊藤 貞嘉
医学系研究科 科長 大内 憲明
工学研究科 科長 金井 浩
医工学研究科 科長 松木 英敏

来賓挨拶と講演

座長: 医工学研究科 教授 佐藤 正明
内閣官房 医療イノベーション推進室 次長 妙中 義之
文部科学省 ライフサイエンス課 課長 板倉 康洋
厚生労働省 研究開発振興課 課長 佐原 康之
経済産業省 医療福祉機器産業室 室長 覚道 崇文

来賓挨拶と講演

座長: 医工学研究科 教授 出江 紳一
北海道大学 教授 但野 茂
早稲田大学 教授 谷下 一夫
東北大学 加齢医学研究所 所長 佐竹 正延

午後の部 14:00-17:00

講演: 医工学研究科の歩み

座長: 医工学研究科 教授 永富 良一
経緯と歩みについて 医工学研究科 科長 松木 英敏
医工学研究科の成果事例(1) 医工学研究科 教授 西條 芳文
医工学研究科の成果事例(2) 医工学研究科 教授 田中 徹
医工学研究科卒業生からの講演 PMDA 加藤 健太郎
医工学研究科 研究員 土見 大介

講演: REDEEM事業の歩み

座長: 医工学研究科 教授 山口 隆美
これまでの歩み 医工学研究科 教授 山口 隆美
現状と今後の課題 医工学研究科 教授 永富 良一
医工学研究科 准教授 沼山 恵子
REDEEM修了生からの講演 オリンパス株式会社
医療技術開発本部 医療探索部 部長 清水 一夫

(敬称略)

参加希望の方は下記までご連絡下さい

連絡先

東北大学大学院医工学研究科リハビリテーション医工学分野内 生体医工学フォーラム2013事務局

Fax: 022-717-7340

Mail: seitai2013@reha.med.tohoku.ac.jp